

令和2年度 新型コロナウイルス感染症に対応した学校再開に向けて（保健管理）

扶桑町立扶桑中学校

1 感染源対策

- 毎朝登校前に、家庭にて検温をする。
→やりとり帳表紙裏に検温表（別紙）を貼りつけ、体温・健康状態を記入する。
- 朝の健康観察の際に子どもの体調を確認し、検温をしてきていない生徒については、教室で検温する。かぜ症状など体調不良の生徒については、保健室で再度健康観察を行う。
- 職員についても検温を行い、発熱等かぜ症状のある場合は自宅療養など適切な処置を行う。
→体温は検温表に記入し、毎週金曜日に学年主任が学年分を集めて、教頭先生に提出する。
ただし、発熱や体調不良があった際には直接校長先生または教頭先生に報告する。
- 学校からの配付文書やHP、保健だより等で家庭への周知を図る。

2 感染経路対策と生活指導

（1）児童・生徒への指導

- 手洗いを徹底する。 ←体育後、給食前、清掃後、トイレ後等、こまめにしっかり行う。
- 咳エチケットを守る。
- マスクを着用する。
- 衣服等で温度調節を行う。
- 抵抗力を高めるため、睡眠・運動・食事について気を付けて生活する。
- ※ 上記について児童・生徒に指導するとともに、HPや保健だより等で家庭への啓発を行う。

（2）集団生活における環境衛生

- こまめな換気を行う。（可能であれば2方向）
- 給食時、机を前向きにして食べる。
- 給食当番について、体調不良の有無・当番の衣服の清潔・手洗い（消毒）が確実に行われているかを毎日点検し、適切でない場合は当番を交代する。
- 合同学習や朝礼・学年集会を行う場合は、換気を適切に行う・間隔を開ける等の感染防止の配慮をして行う。
- 教室やトイレのドアノブ、階段の手すり、スイッチなどを適宜消毒する。
 - ・ 教室の出入口は基本的には開放状態にしておく。
 - ・ 教室やトイレのドアノブ、窓枠については、学級担任が昼と授業後にエタノールで消毒する。
 - ・ 階段の手すりには、極力触れないよう指導し、養護教諭が健康観察回収時に次亜塩素酸で消毒する。

3 心理面の指導について

- ・ 児童・生徒の様子をきめ細かに観察し、相談を行うなど心のケアに適切に取り組む。
- ・ 感染者や濃厚接触者等への偏見や差別が生じないよう発達段階に応じた指導を行う。

※ 上記について、学校医・学校薬剤師に相談し、指導を受ける。